

懇談会 及び 住民意見と意見に対する対応

平成19年2月23日

中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

関係住民の意見把握

意見把握の方法と実施状況等

	手段	実施期間	実施内容	集約数
1	地元説明会	H19.1.17、H19.1.18 H19.1.20	3会場で実施 (鳥取会場、国府会場、用瀬会場)	29通
2	原案の縦覧	H19.1.17～H19.2.15	7箇所に開設 (鳥取河川国道事務所、出張所:2箇所、 鳥取市役所、支所:3箇所)	18通
3	ホームページ	H19.1.17～H19.2.15	鳥取河川国道事務所HPに開設	7通
4	原案概要書の配布 (新聞広告)	H19.1.22配布 (期限:H19.2.15消印有効)	千代川流域4市町配布 (約7万枚)	114通
合 計				168通



地元説明会の模様(鳥取会場)



原案概要書(日本海新聞広告:平成19年1月22日)

住民意見及び懇談会意見に対する対応

1.河川整備の目標に関する事項

項目	意見	件数	意見に対する対応		本文記載箇所
(1)内容全般	・河川整備の内容に賛同します。	17件	-		-
(2)目標流量	・S54年10月洪水を目標にするのではなく、もっと規模の大きい洪水を目標にすることが必要ではないか。	9件	回答	・長期的には、計画高水流量が安全に流せる河川整備を行います。 ・計画的な河川整備を行うため、段階的に整備を進めます。 ・千代川水系(国管理区間)の河川では未だ戦後最大流量も安全に流下できない箇所が断続的に存在しているため、今後概ね20年間の整備目標を戦後最大流量に設定しています。	-
	・洪水対策の目標が高い。	1件	回答	・千代川は近年も昭和54年、平成2年、平成10年、平成16年とたびたび浸水被害を受けています。 ・千代川水系(国管理区間)では未だ戦後最大流量も安全に流下できない状況にあり、洪水から生命、財産をまもるため、洪水対策を行う必要があります。そのため、今後概ね20年間の整備目標を戦後最大流量に設定しています。	-
(3)その他	・堤ダムありきの計画ではなく、流域全体を見て計画を策定して欲しい。	2件	回答	・新袋川・袋川がはん濫すれば、鳥取中心市街地に被害が及ぶため、早期に整備水準を向上させる必要があります。 ・新袋川・袋川は川沿いに住宅等が密集し、堤防の引堤、嵩上げ、河床掘削等の事業は、多数の移転家屋、橋梁の架け替え、堰、床止めなどの横断工物の改修が必要です。 ・そのため、地域住民の生活に与える影響が大きく、事業費もかかるため、最も影響が少ない方法として上流に洪水調節施設を設置します。	-

2

住民意見及び懇談会意見に対する対応

2.河川整備の実施に関する事項

(1)河川工事の目的、種類および施工の場所

項目	意見	件数	意見に対する対応		本文記載箇所
1)河床掘削	・中州を掘削し、流れをスムーズにしてみたい。	22件	回答	・目標流量に対して河川水の流れる断面積が不足している箇所においては断面積の拡大のために河床掘削、樹木伐採を行います。	p.42 ~ p.52
2)樹木伐採	・洪水の時にゴミが引っかかり、水害の要因となる樹木を伐採して欲しい。	29件			
3)用瀬地区の整備	・旧用瀬町の護岸整備を早期に実施してもらいたい。	3件	回答	・旧用瀬町では用瀬地先右岸の築堤を行います。	p.39
	・堤防施工後も国道からの眺望を確保してもらいたい。	2件	反映	・堤防を施工することによって良好な河川景観の眺望を妨げないように、堤防の整備等については、今後専門分野の方々および地域住民の皆様のご意見を伺い、具体的な整備方法を定めます。	p.39
4)堤防天端に計画している道路整備	・新美成橋から用瀬巖付付近(左岸)までの市道を早く施工して欲しい。	1件	回答	・新美成橋から用瀬巖付付近(左岸)までの区間は、市道管理者と調整を図り堤防の計画を行います。	-

3

住民意見及び懇談会意見に対する対応

2.河川整備の実施に関する事項

(2)流水の正常な機能の維持

項目	意見	件数	意見に対する対応	本文記載箇所
1)流水の正常な機能の維持	・いつでも安定した水量を確保し、良好な水質を維持することが必要。	11件	回答 ・貯ダムの整備による袋川の流況改善、および本川においても生物の生息、利水などにできるだけ支障を生じないようするため、行徳地点における流量が概ね14m ³ /sを下回らないように努めます。	p.26 p.30
2)袋川の水質改善	・袋川の水質改善の具体策は何か。	7件	回答 ・貯ダムにより、新袋川分派地点で袋川へ概ね0.3m ³ /sを確保します。	p.26

4

住民意見及び懇談会意見に対する対応

2.河川整備の実施に関する事項

(3)河川環境の整備と保全

項目	意見	件数	意見に対する対応	本文記載箇所
1)整備の目標	・「可能な限り」の表現を変える。 【懇談会意見】		反映 ・重要な水産資源となっているアユなど回遊性魚類の遡上降下環境の確保及び、産卵床の保全に努めます。 ・瀬、淵が交互に連続する現状の河床形態については、治水面との調和に努め、自然の蓄力を利用するなどして保全・再生に努めるとともに、水脈と縁の連続性等を確保することに努めます。	p.27
2)自然環境	・自然を壊さない整備を望む。 ・樹木伐採に際しては、少なくともそこを生活の場としている生き物たちの生活史(鳥類の産卵期等)を考慮して工事の時期を定めて欲しい。【懇談会意見】	56件	反映 ・河床掘削にあたっては、瀬や淵の保全に努めるとともに、水脈部の掘削面の勾配を緩やかにし、一部に浅瀬を残すなど、多様な動植物の生息・生育環境に配慮します。 ・樹木伐採にあたっては、生物の繁殖期等の生活史を考慮し、影響の小さい時期に伐採します。また、段階的な伐採や、治水上問題でない程度に選択伐採をする等の必要な保全措置を行うなど、伐採箇所の生物の生息・生育環境に配慮します。	p.42
3)回遊魚の遡上環境改善	・取水堰等に魚道を設置してもらいたい。	12件	回答 ・魚道の設置は、関係機関と調整を行い実施に向け努力します。 ・また、地域と連携した川づくりを進めるなかで、魚類遡上環境の改善にむけ、調査や地域活動を支援していきます。	p.42 p.67
	・堰の改修時には、魚道の構造には注意してもらいたい。【懇談会意見】		回答 ・アユ等の回遊魚の遡上降下環境調査等を実施し、堰の改修時における魚道の構造に反映していきます。	
4)親水空間の整備	・子供たちと遊べる美しい川辺をつくってもらいたい。	45件	回答 ・より多くの方が川に向き、より親しめる川づくりを目指します。 ・当面、浜坂遊水地において、階段護岸、散策路等の整備を実施します。	p.53

5

住民意見及び懇談会意見に対する対応

2.河川整備の実施に関する事項

(4)維持管理

項目	意見	件数	意見に対する対応	本文記載箇所	
1)モニタリング	・生態系の問題を全部予測することは出来ないで、今後、何年かたてば、実施した工事に対して評価することが必要。【懇談会意見】	回答	・定期的に自然環境、空間環境に係わるモニタリングを継続的に実施し、事業前後の評価が行えるようデータを蓄積します。 ・工事に対する効果や評価は、その後進める河川整備に活かしていきます。	p.24 p.65	
2)不法投棄対策	・川への不法投棄の防止対策を望む。 ・不法係留と思われるボートが袋川に係留されているのを見かける。	18件	回答	・ゴミ、土砂などの不法投棄及び船舶の不法係留に対しては、地域一体となった一斉清掃の実施、河川巡視の強化や河川監視カメラの活用により状況を把握し、悪質な行為について関係機関への通報など適切な対策を講じます。	p.66
3)地域連携	・良好な水質の維持、改善には、行政側の努力も必要であるが、流域の住民、企業、農業者も含めて、川をきれいにする取組みをしていくべきである。	22件	回答	・節水などの量的対策や、家庭雑排水に対する対策など、身近に出来る取り組みが地域に根付くように広報、啓発活動を進めます。	p.68

6

住民意見及び懇談会意見に対する対応

3.その他

項目	意見	件数	意見に対する対応	本文記載箇所	
1)質問	・殿ダム以外のダム計画がないのか。	1件	回答	・長期的には他の洪水調整施設が必要です。 ・今回の整備計画では殿ダムのみを建設することとしています。	-
2)語句の訂正	・「市民生活」と言う表現は、市街地にすんでいる人だけというイメージがあるので、流域にすむ人たちを対象にした表現にしてもらいたい。またあと、「鳥取の発展」も同様である。【懇談会意見】	反映	・以下の修正をします。 「雨が降らず、国管理区間内の千代川や袋川の水が少なくなった場合は、流域に住む人々の生活に深刻な影響を及ぼすことがあります。流域の発展と流域に住む人々の健全な生活を支えるため、安定的な水利用の確保に努める必要があります。」	p.13	

7